

9条守る運動 交流へまつり

福井・永平寺町

福井県永平寺町の永平寺九条の会は、憲法9条を守る二点で共同と交流の輪を広げ、戦争法廃止を求める運動を進めています。

5日には同町の松岡公民館で「平和まつり」を開催し、町内外から約60人が参加し交流しました。会場には、油絵やレイザースタンプ、写真など会

員らの力作を展示し、舞台では、レゲエや津軽三味線などが披露され、盛り上がりました。

講演は、安保法制反対のアピールを発表（6月）した県内弁護士有志の一人である海道宏実弁護士が行いました。

リレートークも企画され、無所属町議や詩人など4人が発言。元町議の男性は、デモに生まれて初めて参加した経験を語り、「街を

歩く中学生が自分といっしょに声を上げてくれた。平和な時代を子らに引き継いでいかならぬといけない」として涙を見せました。

無所属町議は、町議18人のうち、共産党議員1人を含む6人が、永平寺九条の会の会員であり、9月町議会で

は戦争法案反対の意見書案を賛否同数（1人欠席）、あと1歩まで持ち込んだことを紹介しました。
世話人の村国明雄さ

ん（78）は、戦争法の危険な中身を町民に伝えながら、戦争法廃止を求める2000万署名を、会の呼びかけ人拡大を進める取り組みを提起し、「戦争法反対の一点で広範な団結をつくらう」と呼びかけました。